

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



浅井 康太

(三重/90期)

(富山記念で) 乗り方を変えて、迷っていた部分が明確になったので、それは共同につながるかなと思います。あとは、パワー面がすごい落ちているので、それをどういう風に出していくかが課題ですね。トレーニングをすれば、上積みはあるのかなと思います。

伊藤 裕貴

(三重/100期)

練習中の軽い落車で、バランスが崩れて成績が落ちていたんですけど、修正してスピードは上がってきました。共同に向けて、グループのメンバーで長野に合宿に行くので、そこで仕上げたいと思っています。まずは、初戦をしっかりち上がりたいです。



宮本 隼輔

(山口/113期)

G1大会初参戦だったオールスターは6741着。G1独特の雰囲気飲まれたのか、持ち前の機動力を発揮できずにいたが、4走目は上がり10秒8の快速まくりで1勝。ビッグに慣れた今回は上位進出も。



坂口 晃輔

(三重/95期)

今年はまだビッグレースで決勝に乗っていないものの、全日本選抜、高松宮記念杯、オールスターでは準決まで駒を進めている。一昨年のオールスター以来となるビッグ決勝進出を地元シリーズで果たすか。



藤根 俊貴

(岩手/113期)

第113期生の卒記チャンプで、S級でもすでに2Vを達成している。最近では2着が目立つものの、ほとんどのレースで最終バックを取っていて、より積極さを増している。初のビッグレースでどこまでやれるか注目。



小川 真太郎

(徳島/107期)

直近4カ月は先行しての連がらみはないものの、巧くレースの流れに乗ってのまくり、差しで善戦していて、オールスターでは1813着と2勝を挙げた。混戦が予想されるレースは目が離せない。



伊藤 信

(大阪/92期)

まくり一辺倒なので全幅の信頼は置きにくい面はあるが、仕掛けがツボにはまった時の自力攻撃は破壊力抜群だ。主導権争いが激化しそうなレースは人気の有無にかかわらず一発には注意したい。